

東芝デジタルエンジニアリング 喫緊ランサムウェア対策

中小企業向け「まずは相談を」
ソリューションも

東芝デジタルエンジニアリング㈱（川崎市川崎区）は、段ボール産業へのランサムウェア対策ソリューションの提案を強化している。被害に遭つと事業活動に大きな支障が生じる可能性が高いランサムウェア。大企業の被害状況などを報道で見聞きすることも増えてきた昨今、早急な対策が求められる。同社では、「事前対策」「早期発見・復旧」「運用監視」と、全方位での対策が可能なソリューションを提供することにも、顧客の実情や希望に応じて、個別ソリューションを選択し導入することも対応する。段ボール産業に対しては『事業の性格上、多くの企業と取引していると存じている。自社を守ることはもちろん、取引先に被害を拡大させないためにも、事前対策はもとより、万一侵入されてからの迅速な対応が可能な、当社ソリューションの導入を検討いただければ』としている。

ランサムウェア対策。パソコンやサーバーを通じて侵入し、データを暗号化するとともに、公開を脅迫材料として金銭を要求するケースが近年増加傾向にあり、一度被害に遭つと事業活動の停止など多大な影響が想定される。最近も大企業が被害に遭い、同社自体の事業活動はもとより、そのサプライチェーンにも多大な影響が生じたのは報道でも周知のとおりだ。さらに厄介なのは、サ

ンセレクト」を幅広い産業、企業に対して、その有用性を説明することも、各々の企業の現状に応じたソリューションの提案を行っている。段ボール会社は大小様々だが、「規模や取引先数などに応じた、中小企業向けのソリューションも提案できる」とする。

「事前対策」としては、悪意のある第三者が入り込む「セキュリティホール（穴）」がないかという脆弱性を調べて、課題があれば改善策を提案。また、パソコンやサーバーの穴を事前に自動で塞ぐ「パッチ管理」、被害が拡大しやすい領域である「特権ID管理」の保護にもシステム対応する。

対策ソフトを導入しているケースは多いと思うが、これらは既知のウイルスを防ぐもの。当社ソリューションは未知のウイルスにも強い」との見解を示すとともに、早期発見・復旧についても、「万が一、侵入されたとしても、それを検知、隔離し拡散防止を早急に行える。さらには復旧に向けた速やかな対応が可能」とする。

最後に「事業継続性の観点からも関心を持っていただければ。もちろん限られた人員の中で、セキュリティ対策の専任者を配置することが難しい会社もあるだろう。これを当社のソリューションでカバーしてもらえればと考えている」とした上で、「現状、『ここまで対策しているのだけれど、更に必要なことは何か』や、『まず最低限どんな対策をすれば良いか』

等々、自社の現状について相談いただければ、コンサルティングのかたちで提案できるのが当社の強みである。是非、ご相談いただきたい」とした。問合せは「TIDEN@les@ml.toshiba.co.jp



ランサムウェアによるサプライチェーン攻撃の図